



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

コード番号 8006 URL <http://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	53,953	0.8	920	17.3	1,066	18.0	716	201.3
25年3月期第2四半期	53,505	△2.9	784	7.4	903	7.7	237	△50.4

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 781百万円 (251.9%) 25年3月期第2四半期 222百万円 (△65.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.71	—
25年3月期第2四半期	5.17	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	47,268	24,411	50.8	533.91
25年3月期	47,962	24,232	49.7	518.44

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 24,021百万円 25年3月期 23,844百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,500	0.9	1,900	10.2	2,000	2.9	1,100	10.7	24.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	48,977,231 株	25年3月期	48,977,231 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	3,986,151 株	25年3月期	2,984,546 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	45,625,833 株	25年3月期2Q	45,997,813 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、当第2四半期連結累計期間に1,000,000株の自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式取得後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
5. 補足情報 .....	11
(1) 販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、経済政策、金融緩和政策に対する期待感から、円安や株価の回復、個人消費に持ち直し傾向が見られるなど緩やかに回復が続きました。

食品流通業界におきましては、生活者の節約・低価格志向が継続する中、P B（プライベートブランド）商品の台頭、大型商業施設などの新規出店と相まって企業間競争は一段と厳しさを増しました。

ビジネスホテル業界におきましては、円安により訪日外国人が増加傾向にありましたが、首都圏エリアでの競争は厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高539億53百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益9億20百万円（前年同期比17.3%増）、経常利益10億66百万円（前年同期比18.0%増）となりました。四半期純利益は、株価の回復により投資有価証券評価損の発生がなかったことなどにより、7億16百万円（前年同期比201.3%増）となりました。

### 事業別セグメントの概況

#### ① 商事部門

商事部門におきましては、円安による原材料価格の上昇を背景に、メーカーによる価格改定が行われる中、販売競争は更に厳しい状況が続きました。

このような中で、販売先ニーズを捉えた商品供給を的確に行うとともに、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では冷凍・チルド商品、酒類は増収となりましたが、加工食品、菓子が猛暑の影響による落ち込みなどにより減収となりました。業務用商品では小麦粉は販売数量が増加しましたが、価格低下により減収となりました。油脂は販売数量が若干減少しましたが、価格上昇により増収となりました。飼料畜産では飼料は養豚向け販売が増加したことに加え、価格高騰により増収となりました。畜産は成豚の取り扱い数量の増加、食肉価格が高値で推移したことにより増収となりました。米穀では玄米の販売数量が増加し、精米の販売数量も堅調でしたが、新米以降の価格低下により減収となりました。

その結果、商事部門全体の売上高は517億58百万円（前年同期比0.7%増）、営業利益は6億88百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

#### ② ホテル部門

ホテル部門におきましては、景気の回復基調を背景に、一般の利用客が順調に推移しました。また、各ホテルの地域に合わせたイベント、スポーツ大会、スカイツリーなど観光資源を生かした企画提案を行い、観光利用客、団体客の集客に努めるなど、稼働率向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は18億23百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は2億84百万円（前年同期比44.3%増）となりました。

#### ③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は3億71百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は3億31百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億94百万円減少し472億68百万円となりました。その内容は、流動資産の減少4億23百万円、固定資産の減少2億70百万円で、主な要因は現金及び預金の増加12億37百万円、受取手形及び売掛金の減少14億33百万円、原材料及び貯蔵品の減少4億76百万円、建物及び構築物の減少1億96百万円などによるものです。

負債は、8億72百万円減少し228億57百万円となりました。その内容は、流動負債の減少5億88百万円、固定負債の減少2億84百万円で、主な要因は支払手形及び買掛金の減少3億12百万円、長期借入金の減少2億70百万円などによるものです。

純資産は、1億78百万円増加し244億11百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加3億48百万円、自己株式の取得による減少2億33百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは21億53百万円（前年同期比44百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益11億64百万円、売上債権の増減額14億33百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは87百万円（前年同期比4億33百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△2億56百万円、有形固定資産の売却による収入1億43百万円、投資有価証券の売却による収入1億98百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△9億99百万円（前年同期比6億19百万円減）となりました。これは主に短期借入金の純増減額△2億83百万円、自己株式の取得による支出△2億33百万円、配当金の支払額△3億67百万円などによるものです。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から12億42百万円増加し49億91百万円（前年同期比6億49百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868	5,106
受取手形及び売掛金	13,620	12,187
有価証券	0	0
商品及び製品	1,345	1,412
仕掛品	26	31
原材料及び貯蔵品	830	353
繰延税金資産	131	122
未収入金	2,595	2,754
その他	66	85
貸倒引当金	△47	△40
流動資産合計	22,437	22,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,022	13,605
減価償却累計額	△9,317	△9,096
建物及び構築物(純額)	4,704	4,508
機械装置及び運搬具	1,880	1,905
減価償却累計額	△1,620	△1,668
機械装置及び運搬具(純額)	260	236
土地	10,546	10,529
その他	1,524	1,554
減価償却累計額	△1,189	△1,183
その他(純額)	335	371
有形固定資産合計	15,846	15,645
無形固定資産		
ソフトウェア	92	90
その他	149	145
無形固定資産合計	242	235
投資その他の資産		
投資有価証券	6,384	6,300
長期貸付金	425	408
繰延税金資産	76	84
差入保証金	2,524	2,538
その他	284	351
貸倒引当金	△259	△309
投資その他の資産合計	9,436	9,374
固定資産合計	25,525	25,254
資産合計	47,962	47,268

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,297	14,985
短期借入金	4,235	4,194
未払法人税等	330	432
賞与引当金	89	89
その他	1,755	1,417
流動負債合計	21,708	21,119
固定負債		
社債	15	10
長期借入金	587	317
退職給付引当金	653	596
役員退職慰労引当金	24	19
負ののれん	4	2
長期未払金	171	171
その他	565	620
固定負債合計	2,022	1,738
負債合計	23,730	22,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	12,427	12,776
自己株式	△625	△859
株主資本合計	22,977	23,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	866	927
その他の包括利益累計額合計	866	927
少数株主持分	387	390
純資産合計	24,232	24,411
負債純資産合計	47,962	47,268



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	53,505	53,953
売上原価	48,208	48,440
売上総利益	5,297	5,512
販売費及び一般管理費	4,512	4,591
営業利益	784	920
営業外収益		
受取利息	14	14
受取配当金	82	91
その他	61	72
営業外収益合計	158	178
営業外費用		
支払利息	27	25
為替差損	6	—
その他	5	6
営業外費用合計	39	32
経常利益	903	1,066
特別利益		
投資有価証券売却益	—	18
固定資産売却益	—	84
資産撤去費用見積改定額	48	—
特別利益合計	48	103
特別損失		
固定資産処分損	3	3
減損損失	19	1
投資有価証券評価損	263	—
特別損失合計	287	5
税金等調整前四半期純利益	665	1,164
法人税、住民税及び事業税	199	433
法人税等調整額	227	10
法人税等合計	426	443
少数株主損益調整前四半期純利益	238	720
少数株主利益	0	3
四半期純利益	237	716

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	238	720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	61
その他の包括利益合計	△16	61
四半期包括利益	222	781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221	777
少数株主に係る四半期包括利益	0	3

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	665	1,164
減価償却費	249	282
減損損失	19	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5	△56
長期未払金の増減額(△は減少)	△14	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△43	43
災害修繕引当金の増減額(△は減少)	△6	—
受取利息及び受取配当金	△96	△105
支払利息	27	25
投資有価証券評価損益(△は益)	263	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	3	△81
売上債権の増減額(△は増加)	170	1,433
たな卸資産の増減額(△は増加)	402	403
その他の資産の増減額(△は増加)	△213	△265
仕入債務の増減額(△は減少)	855	△312
その他の負債の増減額(△は減少)	△97	△161
その他	102	18
小計	2,281	2,386
利息及び配当金の受取額	97	107
利息の支払額	△27	△25
法人税等の支払額	△242	△314
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,109	2,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△201	△256
有形固定資産の売却による収入	14	143
投資有価証券の取得による支出	△182	△2
投資有価証券の売却による収入	—	198
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	23	—
貸付金の回収による収入	13	14
その他	△12	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△345	87
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	242	△283
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△175	△328
自己株式の取得による支出	△0	△233
配当金の支払額	△367	△367
その他	△78	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△380	△999
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,376	1,242
現金及び現金同等物の期首残高	2,965	3,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,341	4,991

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が233百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が859百万円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第2半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	51,393	1,731	380	53,505	—	53,505
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	3	—	19	22	(22)	—
計	51,397	1,731	400	53,528	(22)	53,505
セグメント利益	671	197	304	1,172	(387)	784

- (注) 1. セグメント利益の調整額△387百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△387百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	51,758	1,823	371	53,953	—	53,953
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	18	—	28	46	(46)	—
計	51,776	1,823	399	53,999	(46)	53,953
セグメント利益	688	284	331	1,304	(383)	920

- (注) 1. セグメント利益の調整額△383百万円には、のれん償却額△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 5. 補足情報

## (1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第2四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年9月30日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	34,409	33,372	97.0
業務用商品	7,386	7,810	105.7
米穀	4,456	4,319	96.9
飼料・畜産	5,141	6,255	121.7
商事部門計	51,393	51,758	100.7
ホテル部門	1,731	1,823	105.4
不動産部門	380	371	97.5
合計	53,505	53,953	100.8